【総括表】

用途	産業施設（林業）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	森林会館	東広瀬町	現状維持	
2	旭農林会館	小渡町	現状維持	
3	御内市有林	御内町	現状維持	
4	鼎館	御内町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、林業の振興に寄与する市民が活用しており、古い施設が多く老朽化が目立つが、林業の復興及び衰退防止に必要な施設である。

なお、対策の実施にあたっては、施設の役割や利用状況、老化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	森林会館

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	東広瀬町	延床面積	499.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	1987	499.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
豊田市森林会館は建築後３２年を経過し、経年による老朽化が著しい。特に、給排水設備や空調設備の摩耗が著しい。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
展示室としている空間があるが、活用頻度が低いことや、需要が低いことから、木材利用に係る、木材の展示、木育スペース、リモートワークスペースやＤＩＹコーナーとしての用途転用を検討している。
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
指定管理者である一般社団法人ウッディーラー豊田の会員である民間企業等への貸し出しや、企業名の掲示による収入を狙う。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	利用者ニーズに応じた機能の改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備への更新を検討し、初期費用だけでなく、維持管理を含めた費用の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	旭農林会館

1　施設の概要

所在地	小渡町	延床面積	1,019.38 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
集会所	RC 造	1980	1,019.38	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４１年が経過している。２００７，２０１３年度に屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、シート防水の破れが確認されている。早急に防水改修を行っていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
今後調整予定。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
□：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	御内市有林

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	御内町	延床面積	352.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1983	122.00 ㎡	2 階	
事務所	W 造	1985	230.00 ㎡	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
御内市有林は建築後３４年を経過し、経年による老朽化が所々見られる。 平成２２年度には、倉庫の屋根修繕を実施し、令和元年度に床下の一部、トイレの配管、ブラインドの修繕を実施した。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の老化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	鼎館

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	御内町	延床面積	684.93 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
御内製作工房	W 造	1931	357.00	1 階	
便所	W 造	2004	29.04	1 階	
鼎館	W 造	2004	136.89	1 階	
鼎ドーム	W 造	2004	162.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
旧小学校校舎を工房で利用している。過去に大きな修繕対応はないが、毎年軽易な修繕（照明器具、雨どい等）を行っている。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	（現在の導入状況） 指定管理で、自治区により施設の維持管理が行われている。 （今後の考え） 効率的かつ効果的な施設運営とするため、指定管理以外の方法も視野に入れて実情に合った手法を検討していく
	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。